

# オガラバナ

*Acer ukurunduense* Trautv. et C.A.Mey.  
ムクロジ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内で確認されている生育地は1地区のみである。個体数も少なく、今回新たに県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

北海道、本州（中部以北、奈良県）に分布する。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

亜高山の林縁や林に生える雄性同株の落葉小高木。冬芽の鱗片は2～3対あって敷石状に並ぶ。葉は有花枝には2～3対、無花枝には1～3対。花期は7月で黄緑色。100～200個、1個ずつまたは2～数個が短い柄の先につく。果期は9～10月、分果まばらに毛がある。

## 生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ナニワズ

*Daphne jezoensis* Maxim.  
ジンチョウゲ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

低山の落葉樹林縁に生育し、本県を分布の西限とする。生育地、個体数とも限定されるので県域準絶滅危惧とした。

## 分 布

北海道、本州（福井県・福島県以北）に分布する。県内では坂井市、池田町、福井市、勝山市、大野市で確認されている。勝山市では、石灰岩のガラ場に多く生育する。

## 種の特徴

高さ0.5～0.7mほどの株立性の落葉小低木で、全枝無毛。葉は枝端に互生し、倒披針状長楕円形、長さ4～8cm、幅1.5～3cm、先は円頭～鈍頭、基部はくさび形、花期は3～4月で帯緑鮮黄色。液果は8～9月に赤橙色に熟し、落葉は盛夏。雌雄異株。

## 生育を脅かす要因

森林伐採や植林による生育環境の悪化。園芸目的の採取。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○		○				○	○	○

# ミズタガラシ

*Cardamine lyrata* Bunge  
アブラナ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

かつては普通にみられたが、生育環境の悪化により個体数が減少している。

## 分 布

本州（中部地方以西）、四国、九州に分布。県内ではおおい町、小浜市、若狭町、敦賀市、越前市、福井市、大野市で確認されている。

## 種の特徴

水田や湿地に生える全草無毛の多年草。花をつける茎は直立し高さ30～60cmになるが、花期が終了すると倒れて匍匐する。茎の基部には、花後に長く伸びる匍枝が出る。下部の葉は羽状複葉。4～6月、花茎頂部に総状花序をつけ白色の花を10～30個開く。

## 生育を脅かす要因

除草剤の使用、圃場整備、河川開発、オランダガラシなど生育環境の重なる外来種との競合。

参考文献 福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○	○						○				○	○